

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
アプリキッズ桑名野田		R 8 年 2 月 21 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		小学校に向けての机やホワイトボードの配置をしています。お片付けの練習が出来るように玩具の配置を決めています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		基本は、2対1ですが発達程度で職員の増加を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9			部屋の構造で視覚もあります。支援する位置を共有し児童の行動の把握・声かけを多くし安全の強化をしていく必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		すぐに床掃除をするようにしています。	布団の管理が不十分な為置き場所の確保をしています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9			使用は、来ていますが物がある為安全面の確保が必要です。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		毎月の目標を朝礼で伝達しています。	振り返りを次の月の会議で提示できるようにしていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		まとめた後に内容を共有し改善に努めています。	意向をすべて聞き入れるのは違うと思います事業所で出来ること出来ないことを明確にして伝達していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			全員の総意は、難しいかもしれませんが改善できるように努めていきます。意見が言える環境作りをしています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		内容を伝えていきます。	業務改善の明確な言葉を伝えていければ更によくなると思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		会社の研修内容にプラスして学習時間が設けられている	知ることから始めていけるように準備をしていきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		掲示しています。掲示前に内容共有をしています。	掲示は、していますが職員が内容をしっかり確認するところまで徹底していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9			ゆっくり話をする時間がない為人員の増加が必要かと思っています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			共通理解がもたれるように内容は、全員が確認しています。しかし全員での話し合いの時間を設けることは、できていません。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		全員確認できています。確認したあとにファイリングするようにしています。	内容に対しての質疑応答の時間を会議でとれるようにしていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			個別支援計画がどの療育に繋がっているのか職員が分かりやすくなるとなおります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		基本的に社員が話し合いをしています。	パートさんが主体で出来るプログラムを入れていくことで新しい環境になると考えています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		療育内容は、同じものばかりにならないようにしています。固定化して覚えていくものありますが経験をたくさんしてほしいので力を入れています	パートさんが主体で出来るプログラムを入れていくことで新しい環境になると考えています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		療育内容は、同じものばかりにならないようにしています。固定化して覚えていくものありますが経験をたくさんしてほしいので力を入れています	パートさんが主体で出来るプログラムを入れていくことで新しい環境になると考えています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		朝礼シートが作成されていて毎日皆が同じ確認事項になるようになっています。 (勤務時間に相違がある為)	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9			勤務時間が違う為全員で話し合いをすることは、難しい点もあるかと思いますが気付いた点などを書くスペースを作成していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		担当わけをしているので細かく記載できています。書いた記録も最後にすべて読んでいます。	社員全員が確認し改善策を考えられる体制にもっていきけるようにします。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			長時間モニタリングに時間を使えない現状がありますので職員増員が必要です。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		担当者会議前には、職員間で情報共有した後にを行っています。	会議がない場合もある為他の事業所との情報交換が出来るともっと良い支援になると思います。なかなか難しいです。今後働きかけていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		教育関係の先生が訪問することが多いです。	こちらから連絡をとることは、少ないので報告書などを渡せる機会を作っていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		進学前にご家族様に療育内容と気をつける点などの用紙をお渡ししています。	繋がる支援が良いと思いますのでもう少し連携がとれるようになるとよいです。しかしまだまだその環境が学校・保育園と福祉関係だと思っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		進学前にご家族様に療育内容と気をつける点などの用紙をお渡ししています。	繋がる支援が良いと思いますのでもう少し連携がとれるようになるとよいです。しかしまだまだその環境が学校・保育園と福祉関係だと思っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	11	地域の研修などには、参加しています。	連絡をとるようにしていますがどこまで聞いていいことなのか分からない時があります。見学にも行けるように調整しています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9			ご要望があれば実施を考えていきます。

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		細かく伝達を行っています。	連絡帳にご家庭の様子の記載がない方も見えますので今後交換ができるようにしていきたいと思います。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9			ご要望があれば実施を考えていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			契約時に説明をしています。しかし言葉が伝わらないケースがあり困っています。外国籍版の契約書がほしいです。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		お忙しいご家族様にも書面でのやりとりを必ず行っています。勝手に作成することは、絶対にないです。	面談のプランニングを細かくできるようにしていきたいです。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			ゆっくり話をする時間がない為 人員の増加が必要かと思います。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			面談は、半年に1回行っています。 お悩みに関しては、連絡帳でのやりとりもありますが言えない方もいるかと思うのでよい方法を考えていきたいと思います。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9			ご要望があれば実施を考えていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			出来ること出来ないことを明確にして 対応していけると良いです。 すべてを受け入れるのは、困難です。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		写真や連絡帳で伝えています。	HPの情報を定期的に出せていません。 伝えていけるように通信などを考えていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			定期的にこれは、この取り扱いだよ。など確認できるようにしていきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		連絡帳内容を細かく記載しています。	職員が一番悩むところです。伝わらないこともあります。連絡帳だけでなく細かく連絡をとっていける体制を作ります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	9	積極的に参加をするようにしています。	招待して何かを行うことをやっていきたいです。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		研修は、しっかり行っています	訓練時にいない先生にも内容・状況の共有を書面だけでなく実践していけるようにしていきます。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		研修は、しっかり行っています	訓練時にいない先生にも内容・状況の共有を書面だけでなく実践していけるようにしていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		朝の会で確認をしています。	投薬担当をしっかり決めて対応に努めていきたいと思います。時間をより正確に出来るようにしていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		毎日の朝礼で当日のアレルギーを確認しています。アレルギーがある児童の机を他の児童と違う方向にしています。	意識向上をさらにできるように努めています
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		研修は、しっかり行っています	訓練時にいない先生にも内容・状況の共有を書面だけでなく実践していけるようにしていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			研修や訓練等すべてを周知出来ていません。 やっていることを公表する場を考えていきます
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハットが出た際は、朝礼や個々で伝えています。	ヒヤリハット報告書を全員が記入できるように休憩室に設置しています。

	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		定期的を実施しています。	具体的なケースや想定を客観的にみて答える学習方法を取り入れていきたいです。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		細かいことも計画に入れるようにしています	現在身体拘束についての該当者は、いません